

2025年 6月 3日

様

7月参議院選挙 大阪選挙区 予定候補者

6項目の政策アンケート(公開)へのお願い

要請団体:市民のための政治を求める大阪市民連合

住所:大阪市北区天神橋2-2-9 プラネット南森町8階

代表者: 梅 田 章 二

連絡先電話 090-3274-1667

Eメール osakacitizenunite@gmail.com

皆さま方におかれましては、平素より国政・地方政治へのご尽力に対し心から敬意を表します。

私たちは、市民の希望や要求が届く政治をめざし、広範な市民が手をつなぎ協働するグループです。

さて、まもなく第27回参議院選挙が予定されておりますが、国政全体の課題と地方課題は密接に関連していることも少なくありません。国会議員が地方の課題にどのような認識をお持ちかを知ること投票にあたっての有権者の重要な判断要素になると考えます。

このような問題意識から、次の6項目について大阪選挙区から立候補を予定されている皆さまのお考えをお聞かせいただきたくご回答をお願いする次第です。皆様にはご多忙な時期と拝察いたしますがご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、候補者検討中及び大阪選挙区への候補擁立をされない政党様は参考としてご意見を賜りたいと存じます。また、いただいたご回答は、私たちの主催する討論会・市民集会などで原文のまま、公開させていただきます。

記

1, 南海トラフ大地震と「夢洲」での「万博」・「IR・カジノ」の安全性について

大阪・関西万博及びその後のIR・カジノの会場である夢洲は「南海トラフ地震」が発生時には、甚大な被害が懸念される場所です。

これに対して、夢洲は5メートル以上かさ上げされており、津波による浸水被害から守られると博覧会協会は述べています。また、大阪府・大阪市も同様の見解です。

しかし、この考え方には重要な点を見過ごしていると考えでいます。

まず「護岸の強度」という問題があります。津波のもつ強大なエネルギーによって護岸自体が損傷したり、破壊されたりする可能性は十分に考えられます。護岸が津波の衝撃に耐えうる設計になっているのか、また、人工島特有の地盤の液状化などによる護岸沈下や崩壊のリスクも考慮に入れる必要があります。単に高さをクリアすれば良いという問題ではありません。さらに、津波には「遡上(そじょう)」という現象がともない、護岸に衝突した波は、その勢いによって斜面や構造物を這い上がり静的な水位よりもはるかに高い地点にまで到達します。津波の高さよりも遡上高の方が大きくなることも珍しくありません。

したがって、「5メートル以上かさあげしている」からといって遡上してくる津波に対して十分な安全マージン

があるとは言い切れません。

防災対策においては、最悪の事態を想定し複合的な事態を考慮したうえで幾重もの安全策を講じることが不可欠と考えます。私たちは、より具体的で詳細なデータにもとづく説明と、さらなる安全対策を検討すべきと考えますが、あなた様の具体的な政策をお聞かせ願います。

2. 大阪スマートシティ計画について

大阪スマートシティ計画は、うめ北・夢州を舞台に AI, IoT, 5G などの先端技術を活用し新たなビジネスやサービスを創出することを目指しています。特にヘルスケア、モビリティ、エネルギー、観光などの分野でのイノベーションが期待されています。これにより、これまでになかった高付加価値産業の育成や、既存産業の効率化・高度化が期待されています。

他方で大阪スマートシティ計画は効率性と利便性の向上を目指す野心的な取り組みではあるが地域消費の減少、雇用構造の変化、既存産業への影響、そして実装の課題など、大阪経済の成長を阻害する可能性のある多くのリスクも孕んでいます。私たちは計画の潜在的なリスクと利点を慎重に評価し、バランスの取れたアプローチを採用することが不可欠であると考えますが、あなた様のお考えをお聞かせ願います。

3. 大阪・関西万博について

大阪・関西万博は開幕後50日を経過しました。この間、会場が夢州であることからもたらされる諸問題、会場運営とアクセス、パビリオンの展示内容と待ち時間、建設費用の高騰と経済効果への疑問、国際的な関心の低さと参加国の対応、メタンガスなど有毒ガスの発生による安全性の確保、子どもの招待事業への不安など、さまざまな問題点が浮き彫りになりました。

また、開催中に巨大地震や台風などの大規模災害に対する安全対策や避難方策の安心できる具体策も示されていません。更にアクセス不足や会場内移動の不便さから来場者の不満が募り、期待外れの展示や長時間にわたる入館待機は満足度を低下させています。巨額の建設費用に見合う経済効果への疑問や一部参加国の不十分な対応は国際的イベントである万博の意義をも揺るがしかねません。

これらの課題は、万博全体の評価や終了後の費用負担問題など、今後の展開に大きな影響を与える可能性があると考えます。

こうした課題に対する具体的方策及び大阪・関西万博の評価についてあなた様のお考えをお聞かせ願います。

4. IR カジノ誘致について

大阪・関西万博誘致の裏には、カジノ IR 計画との関連性が指摘されています。2014 年の大阪府・市のカジノ IR 誘致方針決定後、2015 年には万博誘致が決定、2016 年には夢州が松井一郎氏の判断で候補地となりました(大阪市の公文書に記録が残されています)。私たちは、カジノ IR の建設に必要なインフラ整備を税金で賄う目的で国策としての万博が利用されたと考えています。

IR カジノの開業は 2030 年の予定で、今回選出の参議院議員の任期中の出来事です。

また、大阪カジノ IR 計画の用地の評価額が、1 平方メートルあたり 12 万円・月額 428 円と格安であり、カジノ事業者への利益供与の疑いが指摘されています。この安すぎる賃料を正当化するため、不動産鑑定評価談合などの不正が行われた疑いも追及されています。鑑定業者 3 社の評価額や算定ミスが

一致していたこと、市が事前に予定額を示していたこと、さらに市が鑑定業者とのメールを隠蔽していた事実などが証拠として提出され不当鑑定を隠蔽しようとする意図が批判されています。さらに IR・カジノ用地に隣接する関西電力変電所用地画価格が、1 平方メートルあたり 33 万円に設定されるなど、不自然な実態が明らかになっています。

さらに、オンラインカジノによる弊害が顕在化しギャンブル依存症問題を含め、カジノ誘致への懸念が広がっています。IR・カジノ誘致の是非と談合疑惑、依存症対策について、あなた様のお考えをお聞かせ願います。

5. 国際港湾物流拠点・「夢州」の重要性について

夢州は 2000 年初頭から、工業地・準工業地に指定され、4 区は「国際コンテナ埠頭」として稼働しており、国際コンテナ輸送船の大型化にともない「水深」が深いコンテナ埠頭「夢州」の取扱量が大阪港全体の 40%を超えるなど、その重要性は際立っています。

ところが、万博や IR カジノのために港湾地以外は商業地に用途変更され、万博閉幕後は IR カジノに連携できるリゾート施設の建設が予定されています（「夢州 2 期マスタープラン」）。

そのため、阪神間での「国際物流拠点化」構想は再検討を余儀無くされ、現在埋立てが進められている「新島」に新たなコンテナ埠頭を建設する必要性が求められています。

これを実現するには、環境面・財政面での懸念があるだけでなく、新たな交通インフラの整備が必要となりますが、船舶が頻繁に往来する大阪湾でこれ以上の橋梁やトンネルの建設が果たして可能なのでしょうか。私たちは、現在の夢州を大阪・関西経済を支える公共的な「物流拠点」として発展させ、自然環境と共存する夢洲の街づくりにすべきと考えます。

万博後の夢州開発について、あなた様のお考えをお聞かせ願います。

6. 「国際観光都市・大阪」構想について

大阪への多様な観光ニーズに対応すべく大阪観光局は、テーマ別ルート開発、体験型コンテナ創出、MICE 誘致強化、ナイトエコノミー推進など、多角的な魅力の発掘と満足度向上につながる政策を計画しています。ただし、この政策を実現するには、質の高いコンテンツ、効果的な情報発信、多言語対応を含むインバウンド受け入れ体制、地域連携、継続的な改善が不可欠です。

大阪観光局の「国際観光都市・大阪」構想について、あなた様のお考えをお聞かせ願います。

以上

ご回答については、恐れ入りますが下記の方法のいずれかをお願いいたします。

記

ご回答用紙： A4用紙にて横書でお願いいたします。

ご回答締め切り： 2025年 6月15日までに投函・返信をお願いいたします。

郵送の場合 同封の返信用封筒をご利用願います。

メールの場合 osakacitizenunite@gmail.com